

修了時アンケート（大学院対象）

対象 : 大学院 博士前期、修士論文提出者
 実施期間 : 2017 年 1 月 4 日(水)～6 日(金)
 実施方法 : 教務係へ論文を提出しにきた者に、アンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。また回収箱は評価・広報室前掲示板にも設置した。
 論文提出者 : 82 名
 回答者数 : 71 名
 回答率 : 86.6%

結果まとめ 質問ごとに(全体)(実数)

【専門分野・コース】 所属する専門分野・コースは次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	A A		
哲学 哲学史	現代思想文化学	臨床哲学	中国哲学	インド学・仏教学	日本学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	人文地理学	日本文学	比較文学	中文	国語学	英米文学	ドイツ文学	フランス文学	英語学	日本語学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	共生文明論	アート・メディア論	文学環境論	言語生態論	専門分野名無効	合計
2	2	3	0	0	5	8	4	3	1	0	11	4	0	1	1	0	0	0	3	6	3	3	3	7	0	0	1	71
28											32											10						
文化形態論											文化表現論											文化動態論						

質問 1 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
36		24		9		1		1	

質問 2 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
24		30		15		2		0	

質問 3 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている授業の内容は全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
39		23		7		1		1	

質問4 文学研究科の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
25		21		15		9		1	

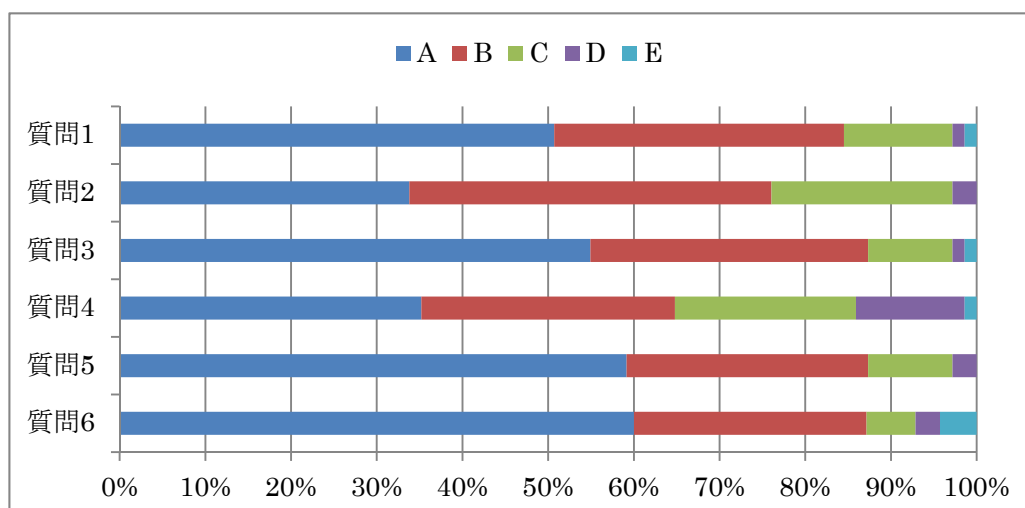
質問5 修士論文の作成や日常の研究について、指導教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
42		20		7		2		0	

質問6 大阪大学文学研究科での勉学は全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
42		19		4		2		3	

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学研究科での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いて下さい。

【授業について】

演習を平日定期的にして頂きたいです。

【修士論文について】

修・卒論の提出期限を遅らせるか、図書館の年末休館のいずれかを改善すべきと強く思う。

提出した論文題目をネットで確認できるようにして欲しい。

【設備について】

全体的には満足していますが、建物内の清掃は十分ではないと思います。

コピー機が少ない（図書館で不便です）ので増設。

哲学哲学史の研究室が狭すぎて、院生が勉強できません。

PC の充実（研究室内）等

【その他】

日本語チェック的な留学生用のレポートチューター（図書館に設置）

研究室絶対主義のような空気は改めてほしい。

入学時のガイダンスを拡充して欲しい。

感謝しかありません。

ここに来て本当に本当に良かった！！

良い2年間でした。

自由記述欄についてのご回答

多数の意見を寄せて下さり、ありがとうございました。今後の改善のために活用いたします。

論文題目は KOAN から確認できるようになっています。

附属図書館や各研究室以外にも、自主学習のためのスペースとして、研究推進室の学生自習室（PC の貸出も行っております）や教育支援室があります。リサーチ・コモンズは学習のほか、各種ミーティングや課外活動にも利用できます。

論文提出期間については、卒修了判定や口頭試問、査読時間の確保の点から後ろ倒しすることは難しい状況にあります。附属図書館の問題は、全学的な問題ですので、すぐには実現できません。事前に計画を立てて、準備しておくことをお勧めします。

留学生向けのレポートチューターについては、たしかにそうした需要があることを確認しています。予算措置が必要ですので確約はできませんが、実現できるよう検討します。

なお、文学研究科では教職員を対象としたハラスメント問題に関する啓発活動を継続的に行っています。ハラスメント問題委員会や教育支援室に学習・生活相談デスクを設けて、相談に応じていますので、気軽に相談してください。また全学にもハラスメント相談室があり、相談に応じています。